



■陶芸教室講師 占部康浩さん

色あせたTシャツと、着古したジーンズ。がっしりとした体躯に人懐っこい笑顔が印象的だ。

# 土と対峙

## 癒 / し / 空 / 間

「心にくろくろをひいていた。九州産業大デザイン学科に進んだとき、そのときの光景がよみがえり、陶芸の道歩むことに。」

「自分からは手を出さず、できるかぎり口で伝え、作

「心にくろくろをひいていた。九州産業大デザイン学科に進んだとき、そのときの光景がよみがえり、陶芸の道歩むことに。」

つてもらおうようにしています。毎日文化センター広島

毎日文化センター広島「陶芸教室」

- 自由時間制
- 月～土曜10:00/13:00/15:30/18:30から各2時間で、自由に受講可。
- 受講料 3ヵ月12,600円(材料費毎回1,500円)
- お問い合わせは 毎日文化センター広島 電話082-245-1414

一品料理

すし処

「冷凍と違う食感を楽しんで」という。にぎり鮓は「カンから頼め、飲んで食べて1人3500円、4000円。これからは料理「かなわ」で修行したという。主人のカキ料理も楽しめる。「GZO」持参の方に、女性に人気の「にぎり梅酒」を食前酒としてサービス。

(長島裕子)

受講生全員で作るので、いろいろと話が弾み、自分を脱線する事しばしば。それでも完成を祝って一杯やりた

地元学区の 広報担当になり、もう少し 上手く広報誌 を作れないか



お好み焼き「もり」4代目・中本美穂子さん

# 歴史背に 四代目奮闘中

客の7割は男性。最近では、インターネットや口コミによる県外の人も増えた。ソースは「大福ソース」。オタフクソースよりサラツとして甘過ぎず濃過ぎない。「男性にうけるようです」。

Shop.02

風雅堂

茶道界で「広島にひろ柿あり」と称される「ひろ柿」とはこの店のもの。干し柿ともち粉を原料に二日

風雅堂のご主人・竹下銀次郎さん

Shop.03

ストリート系ブランド

メンズカジュアルショップ

BAD COMPANY

メンズカジュアルショップ「BAD COMPANY」

住所/中区富士見町6-11

電話/082-242-3903

休業日/元旦のみ

営業時間/11:00～20:00 (土日祝は10:30～20:00)

http://blog.livedoor.jp/badstyle/

Shop.04

すし処・一品料理「すぎ」

住所/中区小町9-7

電話/082-246-9171

営業時間/夜17:30～24:00

定休日/水曜日

1960年創業。じぞう通りで、2を争う歴史を持つ。色あせた暖簾をくぐると、たたみ一枚より少し狭い鉄板が二つ。他にありものといえ、椅子と流し台、キャベツなどの材料を置く棚があるだけだ。

今年9月、歌舞伎役者の市川海老蔵がやってきた。顔から汗を吹きこぼしつつ、お好み焼きをほおばったという。

お好み焼き「もり」

住所/中区富士見町14-11

電話/082-241-5358

営業時間/午前11:00～午後5:30

定休日/12/31、元旦、1/2のみ

広島銘菓

風雅堂

住所/中区富士見町6-12

電話/082-241-2325

定休日/日・祝日

営業時間/午前8:00～午後6:00

五感を満足させませう

最後に舌で味わう」のだそう。ショーケースには季節ごとの美しいお菓子とともに、おはぎや薄皮饅頭などの定番、春の桜餅など気軽にいただけるものも、10個以上なら特注の和菓子も作ってくれる。ホームパーティーのデザートに、抹茶と和菓子というのもオシャレでは。

未知の経験 増田智明

貴重な体験 寺本由紀子